

**\* 帝国陸軍の戦闘機が引っかけた 60m 鉄塔検証**

**—その5、南端 60m 鉄塔から撮った写真(其一) 発見—**

アーカイブ室新聞 164号、172号～174号、177号に60m鉄塔検証の記事を書いた。この60m鉄塔は昭和18年に調布飛行場を離陸した帝国陸軍の戦闘機がこの60m鉄塔に接触して墜落するという戦時中の機密事件があり、興味深いので調査を続けている。アーカイブ室新聞 173号に東京天文台全景(其二)という比較的低い上空から撮られた写真を紹介し、この60m鉄塔の南側の1本から撮影された事を検証した。今回は東京天文台全景(其一)(写真1)という写真も同じ60m鉄塔から撮影された事を検証した。



写真1 60m鉄塔から撮影されたと思われる写真

この写真1には、手前にゴーチェ子午環棟、その東にレプソルド子午儀室、その右後ろに図書館、そして正面には旧本館、右端には第1赤道儀室、左の方には卯西儀ドーム、その右後ろには、元生協が入っていた倉庫が写っている。ゴーチェ子午環室西側は広大な畑であったことが分かる。これらの建物のゴーチェ子午環室中央と旧本館玄関中央を結ぶ線、ゴーチェ子午環室南端と旧本館南端を結ぶ線が交わる点から、第1赤道儀室、卯西儀ドームに線を引いた角度から、この写真を撮影は、この②と③の光点の位置から撮影した事がうかがわれる。これらの線を入れたものが写真2である。その地点の低い上空から撮影し

た事がわかる。また、この写真の東側背景を見ると、平らな平原にこんもりとした森が幾つも存在していた事が見て取れる。図2が南端60m鉄塔からの視準線である。

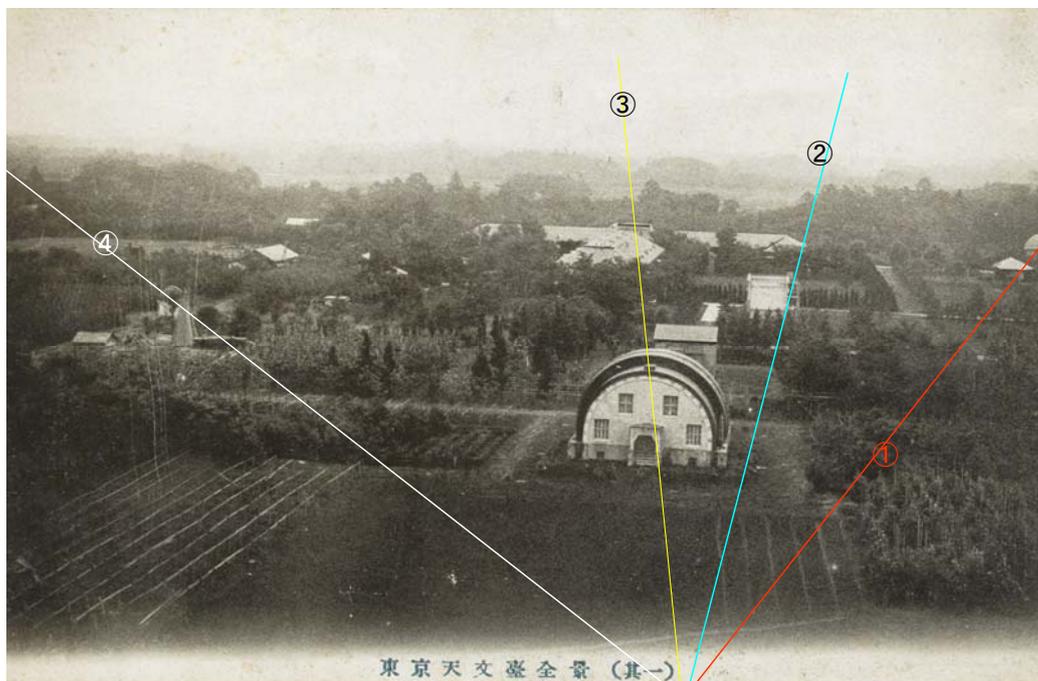


写真2 撮影地点を検証する図

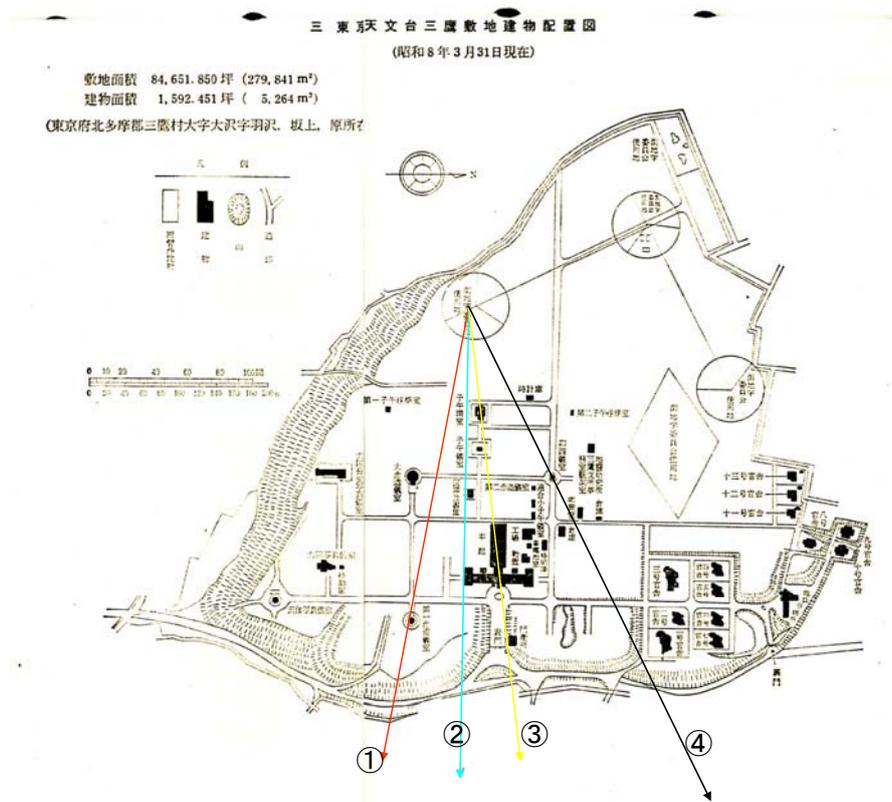


図1 南端の60m鉄塔から撮影したと思われる方向